



生命保険の役割

当社で報告を受けた
直近の支払実績から
分かること

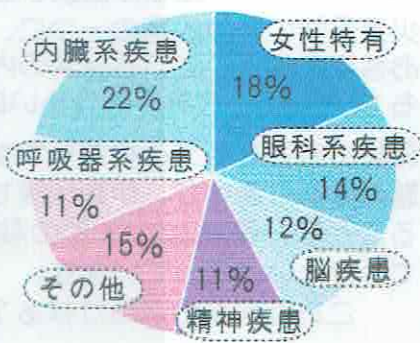
保有契約
803件
お支払件数
37件

おかげ様で伊野保険センターでは、多くのお客様の生命保険契約をお預かりさせていただいております。毎日の生活の中で何事も起こらないのが一番ですが、時として思いもよらない出来事が起こってしまいます。

保険がお客様のお役に立てるのは何十年も先の事かもしれません。もしもの時に、実際にどのようなお役に立てるのか、当社の支払実績を基に再考察してみました。

現在日本における生命保険加入率は、90%を超えております。お客様の中にも、複数社、タイプの異なった保険にご加入の方も多くいらっしゃるかと思います。当社の支払実績を参考にさせていただければと思います。

お客様 ニーズの高い 医療保険



- ★ 請求された方の平均年齢・・・33.7歳
- ★ 加入してからの平均経過年数・・・3.8年
- ★ 平均入院日数・・・17.7日
- ★ 手術給付金が支払われた請求・・・48.1%
- ★ 平均支払保険金額・・・154,537円

保険代理店の考察

医療保険の支払という視点で見ると、次の点がポイントに挙げられます。

当社での医療保険加入者の中心が30代であることも理由の一つですが、仕事・家庭・両方で負担が増してくる30代男性の請求が多かった。ただし、若い方の入院日数は短い。

40歳前 平均9.8日
40歳後 平均3.3日

出産に伴う入院も意外に多い。妊娠中の緊急入院や帝王切開（手術）による出産。女性は出産前に加入の検討の価値有。手術給付金（一時金）の役割は大きい。

手術有の平均支払 22万1346円
手術無の平均支払 9万2500円

技術の進歩により日帰り手術適用の症例が増えている。（特に眼科）近年は入院の短期化が更に進み、医療保険では、日帰り入院から支払われる商品が主流になっております。さらに、手術給付金の有無や、支払われ方が医療保険のポイントとなっています。

近年 注目されている
がん保険（特定疾病）

- ★ 請求された方の平均年齢・・・56.5歳
- ★ 加入してからの平均経過年数・・・7.2年
- ★ 平均入院日数・・・36.7日
- ★ 平均支払保険金額・・・309万5000円
- ★ 社会復帰率・・・83.3%

～ 保険代理店の考察 ～

- がん保険のポイントは何と云っても
- 給付金がすぐに受け取れる。
多くのがん保険が、治療の有無ではなく、がんと診断確定されたら支払になる。
- 治療費以外にも使うことが可能。
主に治療費に役立っていますが、仕事復帰するまでの生活資金諸々に役立っているお話をよく伺っています。
- 50歳以降の発症率が高い。
がん保険は50代以降にこそ残しておきたい保険です。

死 亡 保 障

- ★ 保障を受け取られた方の平均年齢・・・52.7歳
- ★ 加入してからの平均経過年数・・・5年
- ★ 平均支払保険金額・・・647万5489円

～ 保険代理店の考察 ～

ご契約の際は、当然 お客様のご意向に沿った保険設計を心がけています。しかし、実際に お支払いをする場面に遭遇した時は、ご遺族の方の請求手続きをサポートしながら、「果たしてきちんとした設計ができていたでしょうか？」と考えてしまいます。

掲載の数字は、当社における近年支払データを基にしています。

POINT

生命保険という商品は、契約の数だけ契約者の思いのこもった商品です。けれども、長期間に及ぶ契約・形のない商品なので、月日が経つうちにその価値を忘れてしまいがちです。「自分が分かっていれば大丈夫」「保険に入っているから大丈夫」は意外な落とし穴です。皆様のその思いは、伝えたい相手に正確に伝わるようになっていきますか？契約に立ち会っている代理店として、ご契約者様の保険に託した思いをしっかりと伝える代理店でありたいと思いますし、当社のお客様にも、思いをどう伝えるか改めて考えて頂きたいと思っています。

入っているから大丈夫!? いざという時どう伝える? 一年前に当社お客様になられた A さんのお話です。 A さん（現在55歳・男性）は、もともと夫婦で医療保険に加入されていましたが、15年前40歳を過ぎ、健康に自身が持てなくなってきたので、医療特約付の死亡保障にもう一本加入しました。もちろん家族の事を思っています。 何事もなく10年が経過したある日、A さんは、職場で突然倒れ入院しました。幸いにも大事には至らず、半年ほどで職場に復帰しました。（5年前の出来事です） 先日 A さん夫婦とお会いして、お手元にある保険証券（他社も含め）の整理をし、加入している保険の内容を説明しました。その際、5年前の入院費の請求をしていなかったことが発覚したのです。奥様は、夫婦で一緒に加入していた医療保険の請求はしていましたが、15年前に旦那様が加入していた保険の内容を知らず、請求をしていなかったのです。旦那様も15年前の保障の内容を忘れてしまっていました。